


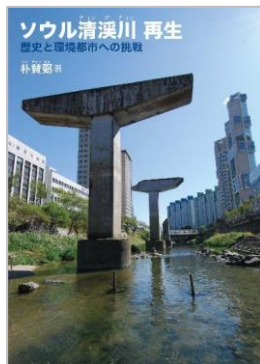
受賞者氏名	朴賛弼	
所属	デザイン工学部建築学科	
受賞年月日	2021年4月22日	
国内・国外	海外	
授与機関等名称	大韓建築学会	
受賞名	大韓建築学会 2021年著作賞	

大韓建築学会の審査では、資料として『ソウル清溪川再生』の日本語版、英語版、韓国版、エコ地域研究所研究報告書、写真図面展覧会パンフレット、業績リストを送りました。受賞式にはオンラインで参加しました。

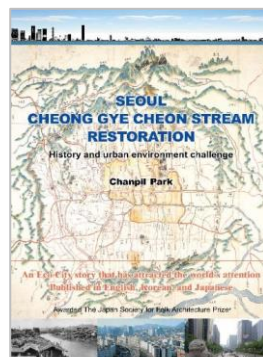
「ソウル清溪川再生」はソウル中心部にある高速道路を撤去し、暗渠の下にあった元の川を、緑あふれる自然豊かな川に復元したプロジェクトです。この研究は2003年から始まり、長年にわたり蓄積された研究成果であります。今後の「日本橋再生」に参考になると思われます。

この研究の成果の一つである写真・図の展覧会が2012年8月と2013年3月に東京と大阪で行われましたが、その時には当時の韓国大統領から韓国大使館を通じてお祝いの手紙をいただきました。また、2017年の英語版が刊行された時には前大統領と面談があり、祝福されるなどエピソードがあります。

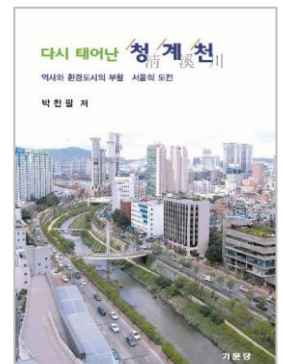
受賞(研究)内容詳細



『ソウル清溪川再生』鹿島出版会、A5判 221頁、2011年12月



『SEOUL CHEONGGYECHEON STREAM RESTORATION』A5変判カラー270頁、英語版、Kimoon dang、2017年8月

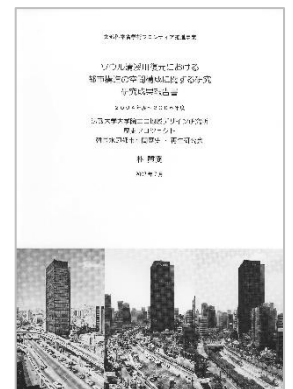


『よみがえる清溪川』韓国版、A5変判カラー 261頁、技文堂、2012年3月




賞・副賞（学会マーク純金）大韓建築学会著作賞 朴賛弼 貴下

貴下は建築分野の著作及び出版活動を通じて、卓越な貢献をしました。特に「読みかえる清溪川」など多数の立派な著書刊行の業績に成した功労が認められ、学会の規定によってこの賞を与えます。2021年4月22日 社団法人 大韓建築学会会長 カンプソン



『ソウル清溪川復元における都市構造の空間構成に関する研究』研究成果報告書、A4判211頁、法政大学エコ地域デザイン2007年7月

受賞者氏名	朴賛弼	
所属	デザイン工学部建築学科	
受賞年月日	2021年5月29日	
国内・国外	国内	
授与機関等名称	日本民俗建築学会	
受賞名	日本民俗建築学会竹内芳太郎賞	

受賞(研究)内容詳細

日本民俗建築学会「竹内芳太郎賞」は、民俗建築及び町並み、農村集落などに関して優れた研究論文あるいは著書を発表し、学術研究の発展に寄与する業績を上げたことが評価されたものです。選考結果は以下の通りです。

朴賛弼氏は日本に留学して12年目に学位論文「風水思想からみた東支那海東域における集落・住居の空間構成に関する研究」を法政大学工学研究科に提出し、1997年3月に学位を授与されました。特に風水思想を基本に据えて集落の空間構成に注目しています。

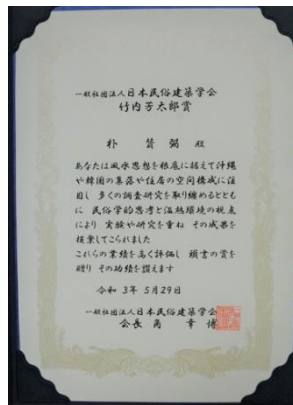
特に優れた論文は法政大学沖縄文化研究所発行「沖縄文化研究」(42号・2015年3月)掲載の「沖縄の発展と展望－沖縄の伝統的住まいを継承するエコハウスを目指して－」です。先達の武者英二・永瀬克己両先生の位置づけと、その継承を示した後、風水思想を根底にして西表島祖納集落と竹富島の集落の空間構成を明確にし、夏の季節風と住居の方位の一致を確認し、更には信仰や習慣といった社会的条件まで視野を広めて多面的に捉えています。もう一つの温熱環境の視点、それは恩師山田水城・古川修文両先生の指導の元で実験を重ねて、通気層アルミ屋根が最も優れていることを指摘しています。最後に木の暮らしと床を高くすることでエコハウスへ繋げて夏を凌ぐ人々への提案をしています。ここでは民俗学的思考と熱環境工学的視点での沖縄民家への挑戦であり、その成果を記した学術論文です。

2019年には沖縄と濟州島民家の空間構成の比較をして、更に広い視野で研究を深めて成果をまとめています(沖縄文化研究第49号)これらの研究は学術的研究の発展に寄与する業績と認められます。

また、ソウルを流れる清溪川の再生への献身的な努力は都市の保存・自然保護の実践活動です。この成果を記念して「清溪川写真・図面展覧会」が開催され、その期間中に当たる2013年3月13日に「ソウル清溪川再生」の講演で、清溪川の再生が正に都市の自然への回帰としています。以上の通り、優れた研究論文と業績であることを認めます。



屋上緑化・空気層を利用した置き屋根の温熱環境実験、沖縄糸満市




日本民俗建築学会
竹内芳太郎賞 賞状



副賞 (メダル表)



副賞 (メダル裏)

受賞者氏名	朴賛弼	
所属	デザイン工学部建築学科	
受賞年月日	2022年1月15日	
国内・国外	国内	
授与機関等名称	武蔵野美術大学建築学科	
受賞名	第6回武蔵野美術大学建築学科長尾重武賞	

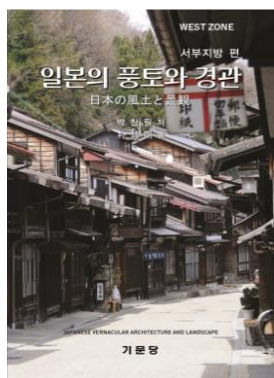
受賞(研究)内容詳細

武蔵野美術大学建築学科の卒業生を対象に「芦原義信賞」、「竹山実賞」に代わり、2016年度からは「長尾重武賞」として賞を継続いたします。「武蔵野美術大学建築学科 長尾重武賞」は、武蔵野美術大学建築学科で長年にわたって教鞭をとられ、その間に武蔵野美術大学学長に就任されるなど、建築学科にとらわれない活動をされてきた長尾重武先生の功績を称え、ご自身の選定により授与される賞です。今回選定されたのは『日本の風土と景観 WEST ZONE』『日本の風土と景観 EAST ZONE』です。審査評は次の通りです。

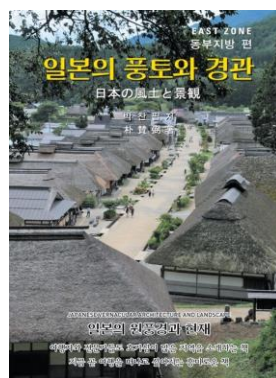
「著者自身の眼で見た隣国日本全国風土と景観を韓国語で手短な紹介と評価をおこなった力作である。著者の真摯さと情熱に応え、日本へ大きな関心が生み出した秀作として評価したい。」

この2冊は、私が日本で生活しながら日本を愛し、その情熱で執筆した本です。その内容は日本の住居文化と景観は主です。日本人が見れば当然のものに見られるかも知れないですが、外国人である私には、その風景が珍しく見えて日本の独特な風土と景観そのものでした。対象地域は沖縄から北海道まで有名地、観光地もありますが、あまり知られてない所も多いです。知られてない所こそ日本の暮らしを理解するのに良い資料になると思います。

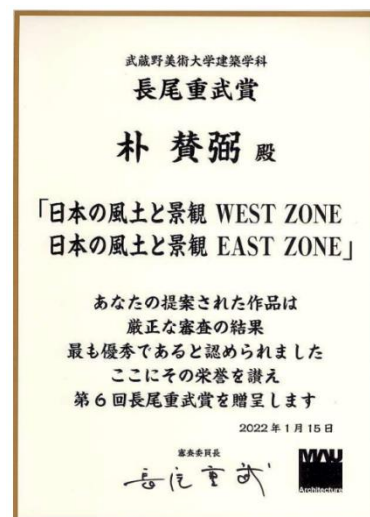
本書は西地方から東地方への流れで構成しました。1冊は沖縄、九州地方から始め、中部地方までを「西地方」編に110カ所、2冊は神奈川県から始まる関東地方を含めて北海道地方までにして「東地方」編116カ所にしました。この本の出版対しては2021年7月19日の日本経済日報に掲載されています。



『日本の風土と景観-西地方編-』韓国版、A5.305 頁 (カラー) 技文堂、2020 年 4 月



『日本の風土と景観-東地方編-』韓国版、A5.305 頁 (カラー) 技文堂、2021 年 1 月



賞状
あなたの提案された作品は厳正な審査の結果、最も優秀であると認められました。ここにその榮譽を讃え第6回長尾重武賞を贈呈します。